

## 編集後記

第62回分析化学討論会、Separation Sciences 2001 が終わりましたが、8月には ICAS 2001 で FIA Symposium が予定されており、すでに HP にプログラムが掲載されております。本水 JAFIA 委員長のご尽力で外国人招待講演6件を含め講演数も多く他のセッションと同様盛りだくさんのプログラムが組まれております。このような FIA Symposium は熊本で開催された Flow Analysis V 以来の企画です。本水委員長は FIA 関係のミニパーティーも計画されているようなので是非ふるって参加していただき盛り上げて頂ければ幸いです。また熊本年会の申し込み、ICFLA(Chiang Mai)の Abstract 締め切りも迫っております。今年は FIA に関連した学会が立て続けにあるのでついていくのも並大抵ではないような感じですが、会員の皆様はいかがでしょう。

さて、お陰さまで JFIA, Vol.18, No.1 は順調に発刊できました。巻頭言は松本 清先生にお願いし、また Flow Analysis VIII の Chairman Professor Trojanowicz からも寄稿して頂きました。総説は藤原照文先生にお願いしましたが、外国からは以前から依頼していた Professor Burguera から FIA/AAS に関するものと Professor Solich から FIA/Pharmaceuticals に関するものの投稿があり、賑やかな総説のページができました。また、ご覧頂いたように、本号の論文はすべて外国からの投稿で

ヨーロッパ、南米で JFIA の評価が高まりつつあるように感じております。英語の添削など審査していただきました先生には大変な労力をお掛けしましたが、ここに厚くお礼申し上げます。

昨年11月に開催された沖縄での第38回講演会は大変な盛会で記憶にも新しいと思いますが、喜納先生にその様子を報告していただきました。沖縄での学会ということでは異なった楽しい雰囲気があり、また、討論も充実したものがありました。喜納先生に改めて感謝いたします。

編集委員の交代が行われ、メンバーが若返りましたが、6月1日の編集委員会でそれぞれの編集分担が決まり、No.2 の発刊に従事していただけることになりました。新しい企画も提案され、JFIA の充実が図られることを期待しております。

フローインジェクション分析通則 JIS K 0126<sup>2001</sup> が平成13年3月20日に改正されました。JIS 委員会(委員長 小熊先生)のご尽力による成果ですが、委員の樋口さんに概要をまとめてもらいました。必要な方は上記通則を購入されることをお勧めします。

2003年の Flow Analysis IX の案内がきましたので掲載しました。まだ先の事ですが、念頭に置いてご計画ください。

JFIA 編集委員長  
酒井 忠雄